

[岩手県立千厩高等学校同窓会東京支会々報]



平成25年6月16日発行 第11号
(題字: 渡辺武雄監事)

発行 岩手県立千厩高等学校同窓会
東京支会 会長 村上 和男
事務局 ☎111-0056 東京都台東区
小島2-9-10TSK事務局内
電話 03-3861-0522

平成25年度千厩高等学校同窓会東京支会総会次第

☆総会 平成25年6月16日(日) 正午
於上野精養軒
支会長挨拶
議長選出
議題(1)平成24年度事業報告並びに収支会計報告に関する件
(2)支会会則の一部改正に関する件
(3)支会役員に関する件
☆記念撮影並びに懇親会

知・徳・体のバランスのとれた教育

学校長 入駒 智

懐かしい出会い

今年創立112年目を迎える県南の伝統校千厩高校に、4月から勤務しております。出身は一関市で、高校も一関です。

前任校は県北の山間部にある大野高校で、生徒数は約200名、職員数20数名の小規模校(地元の評価では適性規模校)でした。それに比べて、本校の生徒数は600名を超え、職員数70数名であり前任校のおよそ3倍の規模があり、また、広大な敷地と併せて驚きと戸惑いを感じております。

一方、私にとって懐かしい人々との再会という思いがけない出来事に、赴任の緊張感が和らいだことが記憶に残っています。

本校に出入りしている金融機関の行員、千厩に店を構える書店の子息、そして本校の非常勤講師、それぞれ以前勤務していた高校の教え子でした。また、本校茶道部の生徒を指導している一般の方が小・中・高の同級生ということがわかりました。偶然の出会いとは言え、これも地元に戻ってきたからこそその出来事なのだと思います。

毎日、一関の実家から通勤していますが、途中見かける本校の生徒達のさわやかな姿に、元気づけられています。

「自転車・二輪車安全利用モデル校」

それでは、本校の様子を紹介いたします。4月4日の年度初め職員会議を皮切りに、始業式、入学式、対面式等の諸行事を無事に終え、先ずは順調なスタートを切りました。

今年の新入生は、普通科106名、生産技術科39名、産業技術科35名の計180名でした。定員は240名ですので、60名の定員割れとなり、例年になく本校への志願者の減少が目立つ結果となりました。全校生徒は600名で、昨年度から55名の減少となっています。

続いて、本校への転入職員ですが、非常勤講師、期限付き臨時職員を合せますと、総勢21名となり、今年度も多くの異動者となりました。

本校は今年度「自転車・二輪車安全利用のモデル校」の指定を千厩警察署から受け、交通安全のルールとマナーを遵守し、無事故・無違反を目指して取り組んでいくこととしております。

ソフト、県大会で14年ぶり5度目の優勝

部活動では、ソフトボール部が、4月13、14日に行われた岩手県高校選抜大会において、14年ぶり5度目の優勝を果たし、幸先の良いスタートを切りまわっています。

野球部は5月6日に春季高校野球地区予選で、初戦、難敵一関学院と対戦、本校は粘り強い戦いをして接戦に持ち込み、最終回一打逆転サヨナラの場面まで行きましたが、一歩及ばず2対3で惜敗しました。続く敗者復活戦では花泉高校を破り、代表決定戦で一関修紅高校と対戦しました。終盤同点に追いつく粘りを見せましたが、最後は力尽き、県大会出場は残念ながらなりませんでした。

県高校総体で熱戦始まる

5月15日にはPTA総会が行われ、昨年度の会務報告、決算報告、今年度の事業計画、会計予算が承認されました。昨今のPTA総会はこの学校も出席率の低さに頭を悩ませており、本校の今年の出席率は1割を少し超える状況でした。

5月21日には岩手県高校総体の開会式が盛岡で行われ、本校選手団も力強い行進を行いました。23日からは各種目別競技が県内各地で開幕しました。

本校のトップを切ってバスケットボールの試合に臨みました。男子は初戦、金

ヶ崎高校に勝ちましたが、2回戦で住田高校に惜しくも5点差で敗れました。女子は初戦久慈高校と対戦し接戦の末、2点差で逃げ切り勝利を収めました。続く2回戦では、花巻南高校に善戦しましたが力及ばず敗れました。

この後も6月上旬まで熱戦が繰り広げられますが、原稿の締切りの関係で、紙上での結果報告はここまでとなります。今後も千高生の熱き戦いを期待しております。

魅力ある学校づくり

最初にも述べましたが、本校への入学者が減少が続いている現在、本校に求められていることは、魅力ある学校づくりであると考えております。そのためには、生徒にとって、分かる授業をいかにして実践していくか、問題行動等の発生を未然に防ぐため、いかに生徒指導を充実させるか、最近、低迷気味の部活動をいか

にして活性化させ、結果に繋げていくか、…。つまり、知・徳・体のバランスのとれた教育活動の質を高めることが必要であると考え、その達成に向けて教職員一同ベクトルをひとつにして取り組んでいきます。

さらには、生徒の進路目標をいかにして達成させるか、という大きな課題があります。しかし、最近の本校の出口指導は、大きな成果をあげていると評価しています。本校に入学したときの学力の状況から考えると、卒業時までの生徒の学力の伸び率、成長度は非常に高いものがあり、生徒・教職員が一体となった努力の成果と考えております。

今後も生徒にとって「千厩高校に入学して良かった」と思えるような学校づくりを目指してまいりますので、同窓会の皆さま方より一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、千厩高等学校同窓会東京支会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

会報のバックナンバー

ご希望の方

各号、若干ずつございます。ご希望の方へ、お送り致します。事務局へ、お申し出ください。

東磐井の民謡⑥

東磐井地方に伝わる民謡の数々をご紹介します (村上 勇)

おいとこ左様だよ	お正月門に門松	おいとこ	昔から唄われている民謡
粉箱やっこらさと担いで歩かになるまい	二月は初午三月おひな様	おいとこ	一番は「磐清水村誌」より
成るたけ朝は早起き 上る東海道は五十と三三	四月はお釈迦様 五月はのぼり旗六月天王様	おいとこ	
裸でバラも背負いませよ	七月七夕	おいとこ	
水も汲みませよ 手鍋もさげませよ	八月お明月 九月は菊の節	おいとこ	
東の果てまで歩かじやなるまい	十月お恵比須	おいとこ	
西の果てから	十一月油しめ 十二月詰めの月	おいとこ	
店々の番頭さんが帳面かかえて		おいとこ	

第20代名人

ガマの油売り口上

(昭和35年卒)

金野龍一さん

「さあさあ お立ちあい 御用とお急ぎでない方は ゆっくりと 聞いておいで……」傷口に塗ると、血がピタリと止まる、とガマの油の効用を説く、伝統芸能。

さかのぼること江戸時代、筑波山麓出身の永井兵助は、薬を売るため、江戸の街角で“ガマの油売り口上”をおこなった、といわれます。

平成23年6月に、この伝統芸能「筑波山ガマ口上保存会」(会員数100名)の中心を担う、第20代名人永井兵助を襲名したのが、金野龍一さん(昭和35年卒)です。

文部省筑波大学創設準備室に勤務し、開学と同時に、茨城県筑波へ。当時は陸の孤島と言っても良い位に何も無く、筑波の地域交流会へ筑波大1期生を引率して参加した時、そこで初めて第18代名人(元小学校校長、現在104歳でご健在)の“ガマの油売り口上”を聞いて、大感動したそうです。

そもそも、千高時代から落語、浪曲といった口承ものが好きだった、と。

それからというもの、ガマ道場(保存



近況報告

会の前身)へ通い続けて、保存会の会員となり研究研鑽を重ねてきました。

そして、第19代名人(筑波山の江戸屋ホテルの大女将)から受け継いで、金野龍一さんは、第20代名人となりました。茨城県人以外で名人になったのは、初めてなそうです。

平成24年度

本部同窓会総会に参加して

渡辺武雄(支会監事)

岩手も猛暑続きで、平成24年8月2日も日中35℃でした。午後4時から、千厩町本町小角食堂に於いて、平成24年度千厩高等学校同窓会総会が開催されました。

東京支会からは、千葉顧問、村上支会長、猪俣副支会長と本部評議員の小野寺事務局長と私の5人が出席致しました。

菅原温土同窓会長、高橋勝弘学校長の挨拶があった後、平成23年度事業報告、

今は、つくば市の無形文化財に指定され、観光客に披露したり、つくば市民研修センターで公開講座を開催したり、国際会議場で実演、先日は京都へ、6月には東京・市ヶ谷へと、大忙しの72歳です。

来年、茨城県で全国高等学校総合文化祭が行われるため、県立つくば高校の生徒さんたちに、“ガマの油売り口上”を特訓中。まだまだ若々しい、これからが本領発揮の金野龍一さんです。

決算報告がありました。東日本大震災の被災地である県立高田高校へ、5月23日、会長、4人の副会長、副校長が訪ねて義援金をお渡ししたそうです。10月1日に創立110周年記念式典が挙行されたこと。会報「山仰台」10号が発行したことなどの報告がありました。

平成24年度事業計画と予算の提案、役員についても全会一致で承認されました。

役員は全員が留任、総会の様子からして、少々役員の入替えがあっても良いのでは、という雰囲気でした。

総会の出席者が予想以上に少ない(盛岡支会・仙台支会からはゼロ)のは、平日の開催だからではないでしょうか。

同窓生近況

元気しています



高橋昭八さん

昭和27年卒 東京都狛江市
元気で居りますが、体調がイマイチなので、年会費のみ送金致します。とにかく頑張っ続けて下さい。

佐藤久子さん

昭和32年卒 さいたま市岩槻区
今年の3月に、介護福祉士の国家資格を取得し、現役として頑張っています。

小野寺信夫さん

昭和36年卒 千葉県八千代市
古希を迎えましたが、元気に暮らしています。趣味の登山を昨年10月、日本百名山を夫婦で完登し、現在二百名山を楽しんでいます。

あ□と□が□き

5月24日、陸中海岸国立公園(岩手・宮城県)と津波被害に遭った青森県の種差海岸階上岳県立自然公園を統合し、新たに「三陸復興国立公園」が誕生。東日本大震災からの復興と東北再生の願いを込めて“復興”の言葉が入ったそう◆宮藤官九郎のNHK朝ドラ「あまちゃん」と会津舞台の大河ドラマ「八重の桜」。東北を元気にしてくれます◆この7月から一関市・平泉町・奥州市・金ヶ崎町は“平泉”ナンバーが導入されるとの事です◆神経内科学の北村伸教授は、日常生活を少し見直すことで、脳を活性化することができる、と。①人を褒める②グループ活動に参加する③1日3人以上の人と話すの3つがポイントなそうです。◆富士山は世界遺産に登録確定。古都鎌倉は残念でした。嫉妬深い“頼朝”さん、平泉を妬まないで下さいね◆サッカー日本が5大会連続のW杯出場権を獲得。来今の今頃は、ブラジルで熱戦中!(ms)

店 懇親会会費について、支会規約の一部改正について等

◎平成24年度収支会計報告(別紙の通りです)

【総会議題2】支会会則の一部改正に関する件

(現行)
第6条 本会に次の役員を置く。
(4)支会評議員12名(改正案)

支会評議員20名

【総会議題3】支会役員に関する件(別掲をご覧ください)

平成25年度 岩手県立千厩高等学校同窓会東京支会総会

同窓会東京支会総会提出議案

次の三議案について、ご審議の程よろしくお願い申し上げます

同窓会東京支会長 村上 和男



東京支会役員

- 顧問 千葉喜美夫 昭和26年卒
支会長 村上 和男 昭和34年卒
副支会長 猪俣 信夫 昭和30年卒
監事 亀卦川成志 昭和30年卒
同 ○渡辺 武雄 昭和34年卒
会計 山下 正悟 昭和43年卒
事務局長 佐藤 政男 昭和40年卒
事務局長 ○小野寺重喜 昭和46年卒
評議員 小山 俊一 昭和30年卒
同 小山 勝一 昭和34年卒
同 村上 勇 昭和34年卒
同 畠山 栄喜 昭和34年卒
同 岩山 宏 昭和35年卒
同 千田 博 昭和39年卒
同 菅原 健悦 昭和42年卒
同 滝沢 實 昭和47年卒
同 那須 善広 昭和52年卒
同 佐藤 明敏 昭和52年卒
同 皆上 健一 昭和59年卒

(○印は本部評議員)

【総会議題1】平成24年度事業報告並びに収支会計報告に関する件

◎平成24年度事業報告(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

平成24年4月8日 役員会 於銀座松坂屋別館ライオン 支会総会・懇親会 案内状等文案、総会提出議案(23年度事業報告・会計報告)の検討

5月3日 読売新聞、毎日新聞へ同窓会案内掲載依頼

5月6日 役員会 於TSK事務局 支会総会案内状発送作業

6月5日 夕刊読売新聞「シテイライフ」欄に同窓会総会の案内を掲載

6月6日 毎日新聞「出会いふれあいインフォメーション」欄に同窓会総会の案内を掲載

6月9日 役員会 於銀座松坂屋別館ライオン 総会当日の役員体制・式次第・総会出席状況

6月10日「第38回岩手県人の集い」於ホテルラングウッド

6月11日 同窓会本部菅原耕喜事務局長から総会出席者の報告を受信

6月17日 平成24年度同窓会東京支会総会・懇親会 於上野精養軒 参加者48名

(本部)菅原温土同窓会長・菅原耕喜事務局長

(母校)高橋勝弘校長・武田宏行進路課長・菊池満生徒課長・菅原正幸先生 中村和明先生

7月1日 年会費納入の方へ、お礼状と会報第10号を送付

7月8日 役員会(反省会) 於後楽園青いビル2F「後楽園飯店」

8月2日 午後4時 千厩町本町「小角食堂」平成24年度同窓会本部総会 支会から5名出席

10月17日 岩手県連ゴルフコンペ 於野田・紫カントリークラブ

10月20~21日 第17回青空ふれあいフェスティバル 於世田谷区太子堂小学校校庭

10月21日 千厩町ふる里会総会・懇親会 於後楽園青いビル「後楽園飯店」 平成25年1月27日 役員会(新年会)

於さがみ教寄屋橋本店
3月3日 役員会 於さがみ教寄屋橋本

